

『約束の48時間』

～熱情のバトンを明日へ～

子ども虐待を防止し、子どもの権利を守るために多職種が連携することは、今では当たり前のこととなりました。しかし、30年前はどうだったでしょうか。

1990年代、子どもの命に真正面から向き合い、「どうしたら子どもを救えるのか」と葛藤しながらも行動を続けた人々がいました。無力感に押しつぶされそうになりながらも、つながることで知恵を出し合い、情報を共有し、子どもの命を、そして子どもとその家族を守ってきたのです。

今回のテーマには、虐待通告から48時間以内に子どもを確認するというルールを最初に決めたのは埼玉県であり、当会理事であった（故）藤井東治氏が「どんなに厳しい状況にあっても48時間は生き延びてくれ。必ず助けに行くから」と子どもとの約束として提唱した思いを込めています。

法律や制度が整備された今、あの“何もなかった時代”の熱情は、私たちの中にどれほど残っているのでしょうか。真の意味でのネットワークの必要性、そして子どもの権利保障を中心に据える意義を改めて見つめ直し、次の世代へとその思いをつなげていく――。

団体設立30年を迎えた今、その原点と未来を見つめる時間を持ちます。

2026年5月17日（日） 14:20-16:30

会場 さいたま市民会館大宮 集会室 9 / Z00M

コーディネーター 奥山真紀子(当会初代会長)・渡辺好恵(当会副会長)

シンポジスト 澁川悦子/平野修司/荒井直樹/相澤仁(当会理事)

定員 会場：50名（会員優先） オンライン：50名

対象者 市町村母子保健・児童福祉、児童相談所、保健所
里親、児童養護施設・ファミリーホーム職員、保育士
小児科・産婦人科等医療機関、子どもに関わる者など

参加費 会員：無料 非会員：2,000円

申込み チラシ裏面に記載 メ切：2026年5月7日

NPO法人 埼玉子どもを虐待から守る会

<https://scap.jp/>

saitama_canp@yahoo.co.jp

後援 埼玉県(申請予定)

お申込みに関して

<当団体 会員申込み>

- ・会員の方は、総会にも併せてご出席ください。
- ・お送りしたニューズレターのQRコードをご利用ください。
QRコードが読み取れない場合は、事務局あてメールでご連絡ください。
「会場参加」・「オンライン参加」をお選びいただけます。

***オンライン参加の場合、講演の数日前に当会より、参加方法等をお送りいたします。**

<一般申込み>

以下のPeatixのイベントページからお申込みください。お申し込みの際のメールアドレスは個人のものご使用ください。職場のメールアドレスの場合、Peatixからメールが届かない場合がございます。申し込み完了後、ご登録のメールアドレスにあてに「お申し込みの詳細」のメールが自動配信されます。当日のログイン情報を正しくお届けするために、まずは申込後の自動配信メールが届いているかをご確認ください。

参加できなくなった場合は必ず主催者にキャンセルのお申し出をお願いします。その場合、返金に手数料がかかる場合がございますが、ご了承ください。

URL) <https://2026mamorukai517.peatix.com>



◆ 注意事項 ◆

●オンラインセミナー「ZOOM」を使用して行います。Wi-Fiなどのネット接続ができる環境で、PC・スマホ・タブレットなどから視聴できます。接続は簡単です。ZOOMの接続サイト(<http://zoom.us/test>)にて、事前にご確認いただけると安心です。

NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会

1995年2月に、埼玉県で子どもを虐待から守るためのネットワークを作りたいという願いを持った仲間が集まり、有志により活動を開始しました。1996年5月会員制の任意団体となり、2003年4月NPO法人として登記されました。

子どもに対する虐待を予防し、子どもの最善の利益を守る活動をしています。現在では子どもに関わる職種や仲間が連携しあい活動しています。